



〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2  
 日港福会館 5階  
 Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622  
 メール rouren@kensu.jp  
 ホール ーゾ http://www.kensu.jp  
 全国検数労働組合連合  
 書記局



829号

# 全国検数労連

## 全国港湾 26 春闘決起集会開催！

### 26 港湾春闘勝利に向け全国団結を呼び掛ける！

3月27日(金) 蒲田日港福会館大会議室で全国港湾26春闘決起集会(リモート)が開催され、全国の仲間(ZOOM54件・YOUTUBE22件 計200名)の参加があった。

今回の決起集会は3月25日に開催された第3回中央港湾団交の結果を受け、今後の行動の決意を表明する集会となった。

決意表明に立った竹内委員長は、26港湾春闘で継続協議は多岐にわたるが、まずは港湾産別最低賃金と港湾福利負担金の問題を解決していきたい。しかし、日港協から良い回答を得ていない現状を鑑み、組合員のニーズに応えた運動を展開していくと考えている。

第3回中央港湾団交では4月5日(日)のストライキ通告を考えていたが、あえて通告を見送った。

今後は、4月1日に開催する港運同盟との合同中執での議論となるが、我々は平日のストライキを考えている。その考えを持ちつつ4月2日に開催される日本港運協会との事務折衝に臨むつもりである。つまり、4月6日以降、流動的にはなるが、あくまでも回答の促進のための行動となる。と、流動的な行動への理解と全国団結を訴えた。

玉田書記長からは、この間の現状報告と今後の取り組みについての考え方について報告がされた。

現状報告では、とりわけ26春闘での行政交渉のなかで各地区港湾の現状などの主張により、若干ではあるが動きが出来つつあること。荷主・ユーザーによる港湾への過剰な

ダンピングを抑制する動きや国交省と日港協連名で荷主・ユーザーに宛てた手紙を出せる動きなど、一定の成果が出てきている。あつここれらの行動を賃金や労働条件に結び付けていくための力が重要になる。

26春闘が重要な局面を迎えようとしているなか、全国団結の手力つて突破していくと熱く呼びかけた。

決起集会の最後には、松永代行の団結カンパロー三唱で集会を締め切った。

### 【全国港湾・港運同盟合同中央闘争委員会開催】

4月1日(水) 蒲田日港福会館大会議室で、第2回合同中央闘争委員会を開催し、26港湾春闘の当面の取り組みについて議論を行い、共通認識を図りました。

会議のなかでは、今後の進め方として、4月2日(木)に行われる26春闘事務折衝の場で4月13日(月)以降の18時から始業時までの時間外拒



否通告しつつ4月6日(月)の週に第4回26中央港運団交を申し入れる。

日港協が団交を受け入れない、もしくは回答を受け入れたが回答に前進がない場合には、あらかじめ中央港湾団交の場で正式に4月13日(月)以降の18時から始業時までの時間外拒否を通告する形で方針を固めました。

### 《検数労連名古屋支部 26春闘オルグ開催》

3月7日(土) 名古屋港運会館で中央執行役員を招き、26春闘経過及び企業内課題全身に向けてオルグを開催しました。当日、尾崎支部執行委員長は「目まぐるしく変化する世界情勢の中で職場環境改善に向けて前進させてきている部分もあるが、多くの課題が山積している。本日、検数労連・日検労より中央役員を招き、名古屋支部一丸となって進んでいきたい(要旨)」と挨拶が行われました。

オルグでは検数労連から神保中央副委員長、高木中央書記長に「26春闘経過について」日検労岡田中央書記長から「企業内課題全身に向けて」を議題にオルグを開催し、途中には『東海ろくまん』並びに『しくみん共済COOP』の営業担当者にお越しいただき、それぞれセミナーを行いました。

神保副執行委員長から現在行われている、検数労連団交と港運団交の経過説明を受けながら、「この春闘でどのように大幅賃上げを勝ち取るか」や「交渉中の労働者の発言」など中央交渉の実態を報告として受け取ることで職場組合員とつながる団結を強めるきっかけをまたも感じています。

同じく、岡田日検労中央書記長によるオルグもこれまで進めてきた企業内課題の総括と今後課題や現在直面している課題など協会との協議内容にも触れながら説明を行っていただきました。定年延長課題の次のステップをはじめ、週休2日制や安全課題などこれまで支部内でも各方面から意見を頂いていた部分について企業内協議の実態を含め報告していただきました。直近での協議では福利運営金の引き上げを勝ち取るなど前進課題の報告も行われました。

オルグの最後には質疑応答の時間を限られた中で設け、定年延長の次のステップ(退職金問題)に関する質問や安全課題の早期対応を求めるなど数名からの発言がなされました。その他にも意見集約用紙には多くの期待と課題前進に向けて意見が出されていました。

